



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅  
(JASDAQ・コード 7746)  
問合せ先 財務部長 風間 卓  
電 話 04-7137-3111

営業外収益及び営業外費用の発生並びに平成 30 年 3 月期  
連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期連結会計年度において、営業外収益及び営業外費用を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(助成金収入)の発生

平成 30 年 3 月期連結会計年度において助成金収入 25 百万円を営業外収益に計上いたしました。新潟県柏崎市に立地する子会社の新潟岡本硝子株式会社での原子力発電施設周辺地域企業立地支援給付金などによるものです。

2. 営業外費用(為替差損)の発生

平成 30 年 3 月期連結会計年度において、為替差損 32 百万円を計上いたしました。これは主として米ドルに対して円高が進んだことにより外貨建ての売掛債権につき発生したものであります。

3. 営業外費用(持分法による投資損失)の発生

平成 29 年 11 月 10 日公表「営業外費用の発生及び平成 30 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の通り、当社の持分法適用関連会社である JAPAN 3D DEVICES 株式会社に対する投資持分について、平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)において 20 百万円の持分法による投資損失を計上しておりますが、加えて、平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に 21 百万円の持分法による投資損失が発生し、合わせて、平成 30 年 3 月期連結会計年度における持分法による投資損失は 42 百万円となりました。

4. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と決算値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,856	百万円 168	百万円 53	百万円 36	円 銭 1.86
今回発表実績 (B)	5,790	212	106	83	4.14
増 減 額 (B-A)	△66	44	53	47	
増 減 率 (%)	△1.1	26.2	100.0	130.6	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	5,344	147	66	43	2.28

## 2. 差異の理由

平成 30 年 3 月期の連結売上高は計画比 66 百万円減となりました。反射鏡、ガラス容器への加飾蒸着などの売上高は計画比で増加し、フリット(ガラス粉末)の売上高は前期比では増加したものの計画比では減少いたしました。

こうした中で、生産性の向上並びに需要動向及び設備状況に基づく設備投資管理で減価償却費などの設備関係費用が計画比で減少したことにより、営業利益は計画比で 44 百万円増加いたしました。

以 上